

LIBRARY



風薫る5月が瞬く間に過ぎ、雨の季節。霧雨・小雨・驟雨・豪雨…

あしたの幸福 itoumiku 著 理論社



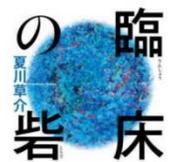
中2の夏休み、父を交通事故で失い雨音は、ひとりぼっちになってしまう。父との再婚が決まっていた穂波さんも軽傷とはいえず入院中。叔母に同居を勧められるが、ずっと暮らした家を出たくない。そんなとき「私と住みますか？」と一本の電話が。幼い時に雨音を置いて出て行った生みの母の国吉さんだった。父方の祖母が生前、「あの人は欠陥人間だった」と怖い顔で言った言葉が忘れられない雨音だが、この家に住み続けるために利用しようと同居を決める。そして現れた国吉さんは…。従来の母親像を覆す意欲作です。

本のエンドロール 安藤祐介 著 講談社文庫



エンドロールとは、映画の終わりに表示される、製作者・監督・小道具係などの名前のことですが、本にはそんなものはありません。せいぜい奥付に出版社と印刷所が明記されているくらいでしょう。でも、映画同様、実は一冊の本ができるまでには、様々な人の手がかけています。この本は、そのなかでも本を出すことに熱い思いを抱く印刷会社で働く営業担当者、印刷機を動かす人たちにスポットを当てて書かれた作品です。紙の本が電子書籍に押され気味でこの先、どうなっていくか不安を抱えるなかで、それでも必要とする人がいる限りこの仕事を続けたいと考える人たちの物語です。文庫化にあたり、2021年の今を描く最終章が書き下ろしも！

『臨床の砦』 夏川草介 著 小学館



『神様のカルテ』の著者が勤める病院は、昨年からの感染症指定医療機関としてコロナ患者を受け入れてきた。その最前線で誰もがギリギリの思いで対応し続けている状況はまさに修羅場、受け入れに手をあげた病院だけが、なぜこんなにも苦しい思いをするのか…。

なにより辛かったのは医療関係者のなかでの認識の格差だという。コロナ患者の受け入れを拒否している病院を訪れると、唾然とするほどのどかな空気が流れていた。感染をひた隠しにする空気こそが、認識の格差を生むのではないかと著者はいう。

『旅する練習』 乗代雄介 著 講談社



中学受験が終わり、晴れてサッカーに集中できると喜ぶ姪っ子の亜美から電話をもらう。翌日いつもの河川敷に現れた亜美は、以前、鹿島の合宿所から無断で持ってきてしまっていた本を返しに行く旅と一緒にしてほしいというものだった。ところが突然のコロナ禍で学校は休校に。そこで作家である「私」は、亜美と二人利根川沿いを徒歩で鹿島に行くことを提案。亜美は宿題の日記とサッカーの練習をしながら、「私」は風景描写の練習をしながら。旅の途中で偶然、ジーコを尊敬し鹿島をめざす若い女性みどりさんが加わったことから、思わぬ展開に。この作品、実はベテラン作家たちが大絶賛。読んでみるとなるほど！と頷ける秀作！どの年代にも心に沁みる不思議な本です。

…

彼女たちの部屋 レティシア・コロンバイン 著 早川書房



挫折を知らない超有能な弁護士ソレーヌは、大きな裁判に負け、目の前でクライアントに自殺され、気を失う。彼女が目覚めたのは病院の一室だった。燃え尽き症候群と診断されたソレーヌが唯一心を動かされたのが代書屋の仕事だった。かたや100年前のパリ、救世軍のブランシュは街中の貧困と闘っていた。最悪な体調の妻を心配し、夫のアルバンがどんなに引き留めても、ブランシュは立ち止まらない。『三つ編み』では場所を越えてつながる女性たちを描いたが、今回は時を越えてつながる物語。

あの夏の正解 早見和真 著 新潮社



昨年、夏の甲子園が中止となった。著者はかつての高校球児、名門桐蔭学園で甲子園を目指し練習に励むが、阪神淡路大震災で春の甲子園開催が危ぶまれた経験を持つ。結果応援無しで開催され、著者は補欠でのベンチ入りも叶わなかった。当時の思いが鮮明に蘇っただけに、夏の甲子園の中止が、てっぺんを目指し励んできた高校球児やその指導者に与えた衝撃は計り知れない。だからこそ、一人ひとりに、自分なりの折り合いをみつけ、前に進んでほしい…その思いが、このノンフィクションを生み出した。

ギフトエコノミー リーズル・クラーク 他 青土社



買わない暮らしのつくり方と、副題にあります。ギフトエコノミーとは、お金による売買や取引ではなく、無償での「贈与」や「分かち合い」によって、モノやサービスが循環する枠組みを言います。消費社会の中にどっぷり浸かって生きてみると、そんなことが可能な？と思います。でも、持続可能な社会をつくるなら、どんどん作ってどんどん買ってどんどん捨てる暮らしより、本当に必要なものを購入し、大切に使う必要になってまだ使えるなら、誰かに譲り使っていただく暮らしは理想かも。

辞典語辞典 見坊行徳・稲川智樹 共著 誠文堂新光社



辞書に関係する事柄681項目を集めて五十音順に並べたまさしく辞典なのです。なので【送り仮名】とか【校正】とか納得の項目もたくさんありますが、え？どうしてこれが？という項目も実はたくさんあります。たとえば【あひると鴨のコインロッカー】は伊坂幸太郎の小説のタイトルですが、作中主人公たちが本屋を襲撃して『広辞苑』を盗むはずが、誤って『広辞林』を盗んでしまうという展開が！つまり辞書が出てくる小説も項目として入っている遊び心満載の一冊。

こどもたちはまっている 荒井良二 著 亜紀書房 E (絵本)



皆さんも小さい時、長新太さんの絵本を読んでもらったことがあると思います。あの独特の世界観は誰にも真似できません。その長さんへのオマージュを込めて、絵本作家の第一人者荒井良二さんが描いた一冊がこの作品です。荒井さんが絵本作家になったのは、長さんの「ちへいせんのみえるところ」に出会ったからだと言います。その作品に勝るとも劣らず、荒井さんの代表作になるであろうこの絵本。今年「日本絵本大賞」も受賞しました。絵本の魅力を言葉で伝えるのは難しいです。ぜひ手に取ってみてください。

5月に入った本の一部です。リクエストは常時受け付けています。

登録 No	請求	書名 1	著者名 1	出版者	出版年
037403	151W	デンマーク幸福研究所が教える「幸せ」の定義	マイク・ヴァイキング	晶文社	2018/11
037374	209H	漫画サピエンス全史	ユヴァル・ノア・ハラリ	河出書房新社	2020/11
023935	289P	ピアトリクス・ポター	ジュディ・テイラー	福音館書店	2001/01
037421	290G1	現地取材!世界のくらし 1~10		ポプラ社	2020/04
037372	290I	この地球(ほし)を受け継ぐ者へ	石川直樹	筑摩書房	2015/06
037397	302I	池上彰の世界の見方 アメリカ2	池上彰	小学館	2021/03
037398	302I	池上彰の世界の見方 東南アジア	池上彰	小学館	2019/04
037399	302I	池上彰の世界の見方 朝鮮・中国	池上彰	小学館	2018/04
037433	367Y	さよなら、男社会	尹雄大	亜紀書房	2020/12
037373	369I	わたしの身体はままならない	石田祐貴 [ほか] 著	河出書房新社	2020/08
037410	372N	SDGs 時代の国際協力	西村幹子	岩波書店	2021/02
037414	404Y	空想科学「理科」読本 粒子・生命編	柳田理科雄 作	講談社	2021/04
037413	404Y	空想科学「理科」読本 エネルギー・地球	柳田理科雄 作	講談社	2021/04
037371	469H	人類史マップ	テルモ・ピエバニ,	日経	2021/01
037411	480G	水の生物 = Creatures in water	武田正倫 監修	学研アソシエ	2016/03
037406	493A	発達障害当事者研究	綾屋紗月	医学書院	2008/09
037340	493S	心を病んだらいけないの?	斎藤環	新潮社	2020/05
037401	498O	食べることは生きること	大瀬由生子	カナリア	2018/05
037390	498U	食のリテラシー	魚柄仁之助	こぶし書房	2017/04
037420	501C	インクルーシブデザイン	ジュリア・カセ 編著	学芸出版社	2014/04
037419	518O	都市の〈隙間〉からまちをつくらう	大谷悠	学芸出版社	2020/11
037417	519J	ゼロ・ウェイスト・ホーム	ベア・ジョンソン	KTC 中央出版	2016/09
037375	547N	IT 全史	中野明	祥伝社	2020/11
037418	590C	ギフトエコノミー	リーズル・クラーク,	青土社	2021/03
037404	617L	世界からコーヒーがなくなるまえに	ペトリ・レツパネン	青土社	2019/11
037432	672K	ほどよい量をつくる	甲斐かおり	インプレス	2019/09
037394	726M	水木しげるの戦場	水木しげる	中央公論新社	2016/07
037400	726S	命がけの証言	清水ともみ	ワック	2021/01
037370	726Y	ものがたりの家	吉田誠治	パイインターナショナル	2020/07
037434	786K	生き物としての力を取り戻す 50 の自然体験	カシオ計算機	オライリー・ジャパン	2018/07
037363	911M	百人一首うたものがたり	水原紫苑	講談社	2021/03
037396	913A	本のエンドロール	安藤祐介	講談社	2021/04
037409	913A1	文豪ストレイドッグス	朝霧カフカ	KADOKAWA	2014/04
037261	913Hu	時は止まったふりをして	藤石波矢	新潮社	2018/06



75 回生 社会

熱帯・温帯・乾燥帯・高山帯の地域



75 回生は、オンライン授業で 1 時間、対面授業でも 1 時間、調べる時間をとりました。そして、補助資料もワードでつくり、グループ内での発表は、オンラインで行いました。教室ではマスクをつけての会話ですが、オンラインだとマスクはもちろんなし、ちょっと不思議な感じですね。これから学びの形もどんどん変わってくるのかもしれないですね。

74 回生 国語 読書会



アイスプラネットを学んだあとに、それぞれが好きな本を選んで読み、その面白さをみんなに伝えるというミニ読書会をしました。せっくなので、返却時に、「私の本の面白さはつまり…」と一言書いてシールを貼ってもらいました。戻ってきた本をカウンター前の展示コーナーに並べています。ぜひ友達が紹介してくれた本で、気になったものがあったら、借りてみてはどうでしょうか？

73 回生読書課題 国語&家庭科



今回は、食と健康に関する本を読むことが国語の読書課題だったのですが、実は家庭科からも、この本を読んで関野先生からの設問に答えるという課題がでています。もちろん渡邊先生からも。これって皆さんには一挙両得？

【図書委員会始動！】

緊急事態宣言が延長になり、なかなか委員会活動もできませんでしたが、いよいよ来月からは、新しいことにも挑戦できそうです。具体的な内容はもう少しお待ちください。

【Unlearning Bookshelf “常識”から寄り道する本棚】

今年度、60 回生の高橋英恵さんが、テーマ研で講師してくださっています。そのこともあり、61 回生の中村萌さんも加わり、時には先輩を囲んでおしゃべりタイムも企画中なのですが、まずは先輩たちから中学生の皆さんに読んでほしい本や知ってほしい情報を掲示するコーナーを、館内に作ります。読んだら、そこにメッセージを貼って、先輩たちと交流できるといいかなと思っています。ぜひ図書館に来たときは、目を留めてもらえると嬉しいです。もちろん、高橋先生のテーマ研を選んだ人は必見です！